自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に基づき、入居者の生活を第一に考え、地域との関わりが継続できるように支援をしています。また、ユニットに掲示をして毎週唱和を行う事で認識を高めていくように、努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭りや6月灯に参加したり、いきいきサロンなどへの参加などを行っています。特に入居者の中には毎回参加し顔見知りを作る方もいます。また、地域の子ども会とも交流を持っています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	事業所で行われる推進会議内で認知症の方々への実践や見取りの報告などを行っています。また、民生委員さんと連携を行って、在宅に引きこもりがちな方へのアプローチに対する話などを行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度地域の民生委員や自治会長、市の職員、ご利用者、ご家族などに参加していただき、利用状況・取り組みの報告や意見交換をしてアドバイスなどいただいている。そこでの意見を施設の運営に活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	包括支援センターや介護保険課の職員と密に連携をとりながら、利用相談の受け入れや利用体系・事業所運営についてなど、緊急時なども含め連携を図っています。又、日置市のグループホームの連絡協議会へ参加しています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会にてマニュアルを用いた研修会を行っています。実際のケアを含め、夜間帯7:30～翌7:00までの時間帯以外は玄関の施錠は行わないようにしています。また、やむおえず身体拘束を行わなければならない事態に備え、同意書や計画作成ができるようにしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な勉強会を行い、皮膚剥離や内出血などがあつた際の確認や記録などを行っています。また、虐待に対するマニュアルを作成し、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者やケアマネ、一部の職員は制度について理解を深めています。その他の職員も勉強会にて資料確認をしていくなどしています。現在は必要性のある方はいないが、職員会議の中などで権利擁護や成年後見制度についての勉強会を計画しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明に加え、その後に変更が必要となる事態が生じた場合速やかに説明を行い理解を頂いた上で、同意を頂いています。また、契約者だけでなく、その家族からの契約に対する説明も行っています。特に看取りの指針や対応は協議を繰り返し確認を行なっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や、日常の中での要望などを外部評価等を通して頂いた要望は、御家族様へ運営の中で反映させて報告を行っています。担当職員の配置や写真などの掲示をしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	サービスに対する職員の問題と感ずる事などは定期的に評定を取り、職員の考えで必要に応じて、代表に意見を提案しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内の就業規則によりキャリアパス要件として資格に対する賃金の上乗せ業務の見直しなどによる残業の軽減を図っています。職員各自が役割を持ってやりがいのある環境作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人職員については新人研修を実施や職員が一体となって研修計画を受けています。また、多くの者に実践者研修を受ける機会を設けています。又毎日の日課の中で、管理者も一緒に業務に携わる機会を作り、その都度気がついたことを職員と共に考えるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会に加入して、研修会・報告会に参加し協力関係を築いています。また、分からない事などは地域包括支援センターや介護保険課に相談し、質の向上に役立っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居への相談の段階で、本人に直接会い、困っていることや不安に思っていること、要望などをゆっくりと聞き、それらについての支援内容を伝えるなど、しっかりと説明を行ない、安心してサービス利用できるように関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居への相談の段階で、ご家族が困っていること、不安なこと、要望などをゆっくりと聞き、説明をおこなっている。また契約時はパンフレットや契約書の内容を見ていただきながら安心してサービス利用ができるように関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居への相談の段階で、即時対応などを行わず、話を聞き、利用者様のまず必要としている支援を見極め、デイサービスや小規模多機能、居宅支援、また、当医療法人以外での施設利用などの紹介もおこなっています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中心に入居者が居れる様に、食事や洗濯などで出来ない事のみを支援する事を考えに持って支援を行う様に心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時や電話連絡にて、状況報告を密におこない、本人、ご家族と一緒に話し合い、今後の支援内容を検討しています。また、状況により、ご家族にも協力していただきながら、必ず経過報告をおこなっている。状態の可能な利用者のご家族などへは外出が可能な状況を一緒に考えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人、友人など、誰でも気軽に立ち寄れる環境づくりに努め、面会時時間を1昼夜問わず設け、家族の方の泊まりにも対応して長時間いる事ができる環境作りをしています。また、買い物や近くの公園などに一緒に出かけ、地域の方々との交流の場を設けています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が、落ち着いて過ごせるようにテーブルの配置や席等を考慮しています。また職員が間に入り、家事や誕生会などコミュニケーションが図れる場をつくり、利用者一人ひとりがお互いの関係性の中で、支え合えるような環境づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、本人やご家族がいつでも立ち寄っていただけるように声かけし、また相談や支援に努めています。その後の家族交流会への参加も声かえています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時やカンファレンスなどだけでなく、日頃より言葉で表される要望だけでなく、表情や行動内容への検討も行っています。その中で業務が優先され、業務内での実現でなく、入居者様の意向を中心に業務を考えています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や入居後に本人やご家族に生活歴を聞き、職員全員が共有し、残存機能や出来る事がいつまでも発揮できるように支援しています。またこれまでのサービス利用の経過等の把握は、直接、担当者に聞いたり、情報提供書をいただけるようお願いしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の健康チェックや排泄パターンチェック、食事や水分摂取の把握をおこない介護記録に記載しています。また朝夕の申し送りや個別の申し送り簿にて、職員全員が一人ひとりの状態を把握してから業務に入るようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の担当職員を決めて、ケアカンファレンスを開催しています。その際には家族の意向をケアマネだけでなく担当職員も聞き取りを行っています。その後モニタリング、担当者会議を行ない、小まめな支援が出来るようにプラン作成しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に個別の様子を記録する事を重点化している。また特変など、個別申し送りファイルに記入し、出勤時に確認してから、勤務に入るようにしている。月に1回のカンファレンスでは取り組みの評価や実践の結果などをお互いに報告しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が良く面会に来られ、その都度現状報告をおこない、一緒に支援内容を検討している。常に利用者の思いに添えるよう声かけをおこない、希望に添えるように計画している。隣接の小規模多機能との連携での行事もおこなっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	特に民生委員さんや自治会長さんには現在の町内の現状などの把握や、高齢者向けの趣味活動の提案など協働させて頂き、ホームや地域の高齢者にとって楽しんで頂ける様な取り組みをしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を密に図り、初期症状から相談や報告を行っています。また、定期的な健診などの他に、希望される検診などがある際には、本人・家族の代りで医師へ依頼をしています。馴染みの医師が往診に来ていただいている方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連絡票などを通し、主治医などとの連携や看護職との円滑な報告や調整などを行っています。また、往診や受診の際には、日中の状態などの介護職が気になる事などで助言を求めるとなっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には2～3日おきに洗濯物などを事業所で取りに行くようにしたりして病状や治療の方針など伺うようにしています。また、本人が落ち着ける時計・写真などを病室で使って頂いたりしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化・終末期の確認を行っており、状態悪化については、主治医や家族、本人の意思などを確認するようにしています。また、家族への支援として、居室への宿泊や食事の提供を行なえるようにしています。方針などは何度でも変更を行って、本人様や家族などと一緒に考えていくようにしています。実際の看取りでは職員の心境の確認も必要であった為、繰り返し家族や事業所、本人の意向、出来る事を一緒に考えます。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成しています。定期的な勉強会で学習の場を設けています。応急手当や感染予防などには特に、模擬実践でのお互いの確認作業を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間で4回昼夜の火災などの災害を想定した避難訓練を行っています。運営推進会議の中で訓練を行い評価を頂いたりする中で、自分たちに足りない部分などを第三者からの確認などをして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護についてマニュアルを作成し定期的な勉強会で取り組んでいます。また日常生活や会話の中でも守秘義務を守り言葉使いについて振り返りを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者との会話の中で本人が思いをしっかりと伝えられるような信頼関係を築く為利用者の言葉を大切にし又選択的な言葉で選択の自由を与えられるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がどのような生活を送ってきたのかどのような趣味を持っているのか事前のアセスメントで得た情報を元に施設側の生活に偏らないように利用者の気持ちに添えるよう生活スタイルへの配慮を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者希望にすぐこたえられるよう美容師の免許をもっている職員が施設内で理、美容を行い希望があれば外出し昔から通っている美容室に行ってくようにしております。入浴前にご自分の洋服を選んで頂きその日の気分に合わせた洋服やおしゃれをして頂いております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査の元その人にあった食事を提供し病院の栄養士監修の元1ヶ月分のメニューを決めており食事作りも利用者にもお手伝い頂いており盛り付け等する事で食べる以外にも食事にたいして楽しみをもって頂いております。また、当日献立を掲示する事で食事の作る楽しみから持って頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事摂取量を介護記録に記載しております。摂取量が少ない利用者に関しては好きな物を提供したり、病院の栄養士に相談し個別な対応も行っております。又身体状況に応じて水分摂取量の把握に努めており全利用者月に1度体重測定を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを自身で気をつけて頂ける様に居室に洗面台を設けたり、歯科医への受診で義歯の不具合調整をしてもらっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄状況を把握する為に排泄チェック表を活用し、一人一人のタイミングで排泄が出来るよう声かけや誘導をおこなったり、各居室にトイレを設置する事で迷わないよう工夫をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事のメニューに乳製品や野菜ジュースなど入っており出来るだけ水分を多くとって頂いております。日中は体操や庭での散歩への参加の促し運動への働きかけも行っています。排泄チェック表での確認も行い看護師との連携もスムーズに行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は毎日入浴をおこない出来るだけ本人の希望する時に入浴してもらえようその日に入る人数等は決めていません。その日の体調に合わせて入浴時間も考慮し無理のない入浴を心掛け手います。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者のペースを大切にす為夜間は好きなタイミングで睡眠をとって頂いています。必要であれば居室にテレビを設置し一人である時間も大切にする事で良質な睡眠が出来る環境作りをしています。逆に一人で不安な方がいらっしゃる時は簡易ベッドにて休んで頂ける様にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が利用者がどのような薬を服薬しているか把握できるよう毎日使用する薬袋の中に薬表を常時入れており薬の変更時等あった場合看護師やケアマネから変更になった経緯や薬の効果を申し送りするようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人に合った役割や担当を持って頂ける様にしています。その人の生活歴や会話の中で得意な分野を見つけその能力を維持して頂く事を心掛けています。そのため、活動がそれぞれで違っていく為、時々がその役割を交代する事で気分転換を図って頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出する計画をたて利用者に毎月の楽しみを持って頂き希望があればその都度日曜日を中心にいけるよう予定を立てております。また個人的に行ってみたい場所があればご家族や主治医と連携を図り誕生日など利用し個別支援もっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	自己管理していない方が多いですが、買い物の際にお金と財布を渡し楽しめるよう心掛けています。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	家族への電話はご希望がある時点で行って頂ける様にしています。また、手紙などは誕生日や年始のあいさつなど声掛けを行い、送って頂ける様に支援している方もいます。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	壁には行事で外出した時の写真や家族の写真、習字の作品などを貼り、会話のきっかけとしています。園庭が見やすいようにしている中で季節の花々や飾り付けにも季節の物をとりいれています。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ソファやこたつなどを置きゆっくりと仲の良い利用者同士、職員との時間を楽しめる場があります。また家族との面会などはプライベートな場が必要な時は自室で行って頂いたり事務所を開放しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅からの家具や時計などを持ってきたりされています。また、転倒などにも配慮して手すりなどを設置したり、家族との写真などを置く事で安心した空間を作れるようにしています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室内は自身で歩いて移動が出来るように、家具などを狭めて手すりに出来るようにしたり、外との出入り口をバリアフリーにする事で、庭へ自由へ行き来でき、日光浴など自由に出来るようにしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1 ほぼ全ての利用者の
		2 利用者の2/3くらいの
		3 利用者の1/3くらいの
		4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1 毎日ある
		2 数日に1回程度ある
		3 たまにある
		4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない